

# 出前講座「認知症予防スリーA」

富岡地域ケアプラザ

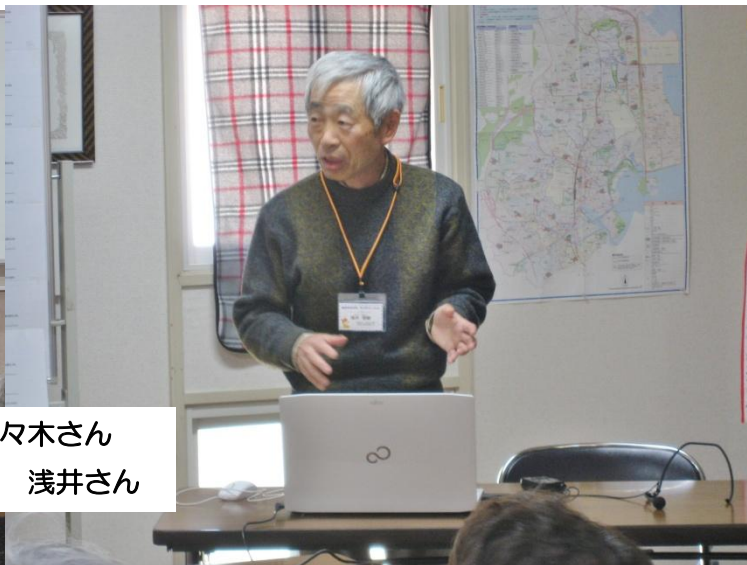
ひかりが丘町内会福祉部

平成27年3月11日

富岡地域ケアプラザと福祉部の共催で「認知症の予防」の出前講座を開催し、24名の出席者がありました。ケアプラザの佐々木さんの「高齢化の現状について」の話と、NPO歩人認知症予防スリーA」横浜かたつむりの会の浅井さんの「認知症について」の話があり、八木さん（ひかりが丘在住）の指導で「スリーAゲーム」をたのしみました。ひかりが丘町内会以外の方の出席もあり貴重な勉強をさせていただきました。



佐々木さん  
と 浅井さん



## 認知症は、脳の病気です。

いったん正常に発達した脳が、いろいろな原因でその働きが悪くなり、認知機能に障害が起きて、生活に支障が出ている状態。

単なる物忘れとは違う。脳の病気（脳機能障害）です。

- ◆ 誰もがなる可能性があります。
- ◆ 現在の医学では、まだ治すことができません。

しかし、進行を遅らせる薬は開発されていますので、

- ① 早期に発見し、進行を遅らせること
- ② 周りの人が正確に理解し、受け入れることが、この病気の一歩の処方箋となります。

(P3)

認知症は…



ためになる話ですが…

## 認知症サポーターに必要なこと

### 認知症サポーターのやさしいまなざし

- ① 行動の裏側にある本人の気持ち  
私達は、認知症の人達の行動を、徘徊・暴力・暴言など一言で片づけてしまいがちですが、こういった行動を一つづつ見ると「道が分からない」「周りの人の言っていることが分からない」「次に何をしたいのかが分からない」といった不安感や焦燥感からくるものです。  
周りの人がその気持ちを受けとめて、接することが大切です。
- ② 「できないこと探し」ではなく「いいところ探し」を  
本人が得意なところに目を向けましょう。
- ③ 同じことを繰り返し聞かれたら  
周囲の人にとっては同じ内容の質問でも、認知症の人にとっては初めてのことだと理解して下さい。 (P18)



じゃんけんゲームの勝利者



お勉強の後のお楽しみ

